

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2784 URL https://www.alfresa.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 岸田 誠一 (TEL) 03-5219-5102
総務・財務担当

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,062,854	3.0	34,544	△5.5	41,544	△6.6	27,995	△18.9
2019年3月期第3四半期	2,002,693	1.4	36,565	27.9	44,484	23.2	34,506	38.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 38,903百万円(59.7%) 2019年3月期第3四半期 24,359百万円(△27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	132.26	ー
2019年3月期第3四半期	161.70	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,422,171	470,320	33.0
2019年3月期	1,341,964	442,081	32.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 469,110百万円 2019年3月期 440,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	24.00	ー	24.00	48.00
2020年3月期	ー	25.00	ー	ー	ー
2020年3月期(予想)	ー	ー	ー	25.00	50.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が3円含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,680,000	1.5	45,400	1.4	55,600	0.8	37,600	△9.9	117.63	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	235,017,600株	2019年3月期	235,017,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	23,343,913株	2019年3月期	23,343,237株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	211,674,055株	2019年3月期3Q	213,402,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、今年度新たに「19-21中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」(以下「19-21中計」という。)を策定し、グループ経営方針に掲げた「グループ連携体制の構築」「事業モデルの変革」「地域の人々の健康への貢献」「さらなる生産性の向上」「人づくり」に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2兆628億54百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益345億44百万円(同5.5%減)、経常利益415億44百万円(同6.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益279億95百万円(同18.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場におきましては、抗悪性腫瘍薬の需要拡大等の影響により、市場は3.7%の成長となりました(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)。

当社グループでは、厚生労働省より公表され2018年4月からスタートしました「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」の遵守を重点課題として、「経済合理性に立った取引の推進」「単品単価契約の推進」「早期妥結の推進」に引き続き取り組んでおります。

あわせて、当社グループは医療用医薬品NO.1卸*として勝ち続けるために「19-21中計」の重点施策として掲げた「MS機能のさらなる進化」「スペシャリティ商品への注力」「グループ物流の高度化、効率化と標準化」に取り組んでおります。

「スペシャリティ商品への注力」としては、連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区、以下「アルフレッサ」という。)が2019年10月にスペシャリティ製品事業の推進体制を構築するため「スペシャリティ事業推進部」を新設し、グループ会社であるエス・エム・ディ株式会社(本社：東京都千代田区)と一体となって一元流通の積極的な展開を図っております。

「グループ物流の高度化」への取り組みとしては、アルフレッサが2019年7月に静岡物流センター(仮称)(所在地：静岡県藤枝市)の建築に着工いたしました。同センターは、2021年5月稼働予定で静岡県における物流の中核拠点として、厳格な温度管理等が可能な高機能物流センターとなる予定です。

また、アルフレッサは2019年9月にヤマト運輸株式会社(本社：東京都中央区)と「調剤薬局向け在宅医療支援サービス」を共同開発いたしました。

さらに、アルフレッサは2019年9月に乳房用超音波画像診断装置の開発を目指すベンチャー企業である株式会社 Lily MedTech(本社：東京都文京区)へ出資いたしました。同社が手掛ける本装置は現在の乳がん検診の課題を解決する医療機器として期待されています。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1兆8,184億72百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益306億65百万円(同7.3%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高118億26百万円(同2.5%減)を含んでおります。

※ 出典：「2019最新オール・データ&ランキング」卸グループ別医療用医薬品事業シェア(株式会社ドラッグマガジン)

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、「トータルヘルスケア・マーチャンダイジング・ホールセラー」を推進し、新たな付加価値による差別化と創造性を持つオンリーワン卸を目指し、「19-21中計」の重点施策として掲げた「安定的かつ持続的な事業基盤の確立」「消費者視点に立った商品提案」「専売メーカー・専売商品の取り組み強化」「将来に向けた投資」「各事業セグメントとの連携強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、インバウンド需要の減少ならびに人手不足による人件費・物流費の高騰および改正消費税法施行に伴うシステム改修などによるコスト増により、売上高2,048億57百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益18億76百万円(同10.3%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高5億64百万円(同56.2%減)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、グループシナジーの強化とさらなる規模拡大を推進するため、「19-21中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくりの推進」「グループニーズに沿った製品の拡充」「製造受託・医薬品原薬事業の拡大」「海外事業の拡充」に取り組んでおります。

「グループニーズに沿った製品の拡充」の取り組みとしては、連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)が2019年6月5日付で、潰瘍性大腸炎の病態把握の補助に使用されるカルプロテクチンキット「ネスコート® Cp オート」の体外診断用医薬品としての製造販売承認を取得いたしました。

また、アルフレッサ ファーマ株式会社は2019年6月27日付で放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ®」を新発売いたしました。悪性腫瘍の治療のために行われる放射線治療の中でも粒子線を用いた治療が近年注目されていますが、本製品を使用することでより多くの治療機会を提供できるものと考えております。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、第一三共株式会社(本社：東京都中央区)および同社の子会社である第一三共エスファ株式会社(本社：東京都中央区)から承継した長期収載品の売上増大等により、売上高336億67百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益14億86百万円(同47.8%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高85億71百万円(同30.9%増)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、収益改善を目指した効率化と環境変化に対応した機能強化を推進するため、「19-21中計」の重点施策として掲げた「機能に応じた店舗の再編」「収益改善を目指した効率化・高度化」「多機能化による地域社会への貢献」「各事業セグメントとの連携強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、調剤報酬加算の獲得増加等の影響により、売上高268億200百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益2億64百万円(同87.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して802億6百万円増加し、1兆4,221億71百万円となりました。

流動資産は、598億65百万円増加し、1兆966億50百万円となりました。これは主として、増収に伴い「受取手形及び売掛金」が520億34百万円増加ならびに「商品及び製品」が287億16百万円増加した一方で、「現金及び預金」が264億95百万円減少したことによるものです。

固定資産は、203億40百万円増加し、3,255億20百万円となりました。これは主として、物流センター等への設備投資に伴い有形固定資産が75億16百万円増加ならびに株価の上昇に伴い「投資有価証券」が155億80百万円増加した一方で、「のれん」等の無形固定資産が17億17百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して519億67百万円増加し、9,518億50百万円となりました。

流動負債は、527億83百万円増加し、9,126億94百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が613億33百万円増加した一方で、「未払法人税等」が37億66百万円減少ならびに「賞与引当金」が42億46百万円減少したことによるものです。

固定負債は、8億16百万円減少し、391億55百万円となりました。これは主として、「長期借入金」が2億52百万円減少ならびに「退職給付に係る負債」が5億91百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して282億38百万円増加し、4,703億20百万円となりました。

これは主として、「利益剰余金」が173億39百万円増加ならびに株価の上昇に伴い「その他有価証券評価差額金」が111億74百万円増加したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	206,300	179,804
受取手形及び売掛金	614,084	666,118
有価証券	10	10
商品及び製品	128,016	156,733
仕掛品	1,723	1,784
原材料及び貯蔵品	3,971	4,550
その他	83,120	88,138
貸倒引当金	△442	△490
流動資産合計	1,036,784	1,096,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,361	52,923
土地	65,765	67,962
その他（純額）	22,401	28,158
有形固定資産合計	141,528	149,045
無形固定資産		
のれん	4,970	4,341
その他	14,757	13,668
無形固定資産合計	19,727	18,010
投資その他の資産		
投資有価証券	123,643	139,223
その他	24,526	23,704
貸倒引当金	△4,246	△4,462
投資その他の資産合計	143,923	158,465
固定資産合計	305,180	325,520
資産合計	1,341,964	1,422,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	817,446	878,780
短期借入金	760	597
未払法人税等	12,645	8,878
賞与引当金	8,387	4,140
その他	20,670	20,297
流動負債合計	859,911	912,694
固定負債		
長期借入金	951	698
退職給付に係る負債	12,889	12,297
その他	26,130	26,159
固定負債合計	39,971	39,155
負債合計	899,883	951,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	101,958	101,958
利益剰余金	288,154	305,493
自己株式	△29,365	△29,367
株主資本合計	379,201	396,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,167	74,342
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△3,676	△3,676
為替換算調整勘定	89	48
退職給付に係る調整累計額	2,142	1,857
その他の包括利益累計額合計	61,722	72,571
非支配株主持分	1,157	1,209
純資産合計	442,081	470,320
負債純資産合計	1,341,964	1,422,171

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,002,693	2,062,854
売上原価	1,850,227	1,908,878
売上総利益	152,466	153,976
返品調整引当金戻入額	696	678
返品調整引当金繰入額	719	648
差引売上総利益	152,443	154,006
販売費及び一般管理費	115,877	119,461
営業利益	36,565	34,544
営業外収益		
受取利息	65	64
受取配当金	1,946	1,850
受取情報料	4,585	4,724
持分法による投資利益	133	—
その他	1,697	1,922
営業外収益合計	8,428	8,561
営業外費用		
支払利息	70	73
持分法による投資損失	—	1,037
不動産賃貸費用	161	169
その他	278	281
営業外費用合計	510	1,561
経常利益	44,484	41,544
特別利益		
固定資産売却益	916	86
投資有価証券売却益	5,753	485
特別利益合計	6,669	572
特別損失		
固定資産売却損	16	198
固定資産除却損	113	120
減損損失	381	69
投資有価証券評価損	1	32
合併関連費用	144	—
その他	18	46
特別損失合計	675	467
税金等調整前四半期純利益	50,477	41,650
法人税、住民税及び事業税	15,022	17,927
法人税等調整額	912	△4,331
法人税等合計	15,935	13,596
四半期純利益	34,542	28,053
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,506	27,995
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	57

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,276	11,172
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△31	△40
退職給付に係る調整額	126	△296
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	15
その他の包括利益合計	△10,183	10,850
四半期包括利益	24,359	38,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,323	38,845
非支配株主に係る四半期包括利益	35	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社の連結子会社であるアルフレッサ株式会社は、2019年11月27日、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)の医療用医薬品の入札に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会の立入検査を受けました。

当社の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。調査は継続中であることから、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合による暫定的な会計処理の確定

2019年3月1日におけるアルフレッサ ファーマ株式会社(当社連結子会社)と第一三共株式会社および第一三共エスファ株式会社の企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を以下のように見直しております。

1. 配分額の見直しの内容

のれん(暫定額)	5,845 百万円
製造販売権	△7,482 百万円
繰延税金負債	2,287 百万円
のれん(確定額)	651 百万円

2. 製造販売権の償却方法および償却期間

15年の均等償却

3. 影響額

上記の見直しに伴い、前連結会計年度末におけるのれんおよび繰延税金資産はそれぞれ5,139百万円および2,275百万円減少し、製造販売権および利益剰余金はそれぞれ7,440百万円および25百万円増加しております。

(セグメント情報)

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,751,516	202,215	23,027	25,933	2,002,693	—	2,002,693
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,124	1,289	6,550	0	19,964	△19,964	—
計	1,763,641	203,505	29,577	25,933	2,022,658	△19,964	2,002,693
セグメント利益又は損失(△)	33,078	2,092	1,005	141	36,318	247	36,565

(注1) セグメント利益の調整額247百万円には、セグメント間取引消去163百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,806,645	204,293	25,095	26,820	2,062,854	—	2,062,854
セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,826	564	8,571	—	20,962	△20,962	—
計	1,818,472	204,857	33,667	26,820	2,083,817	△20,962	2,062,854
セグメント利益又は損失(△)	30,665	1,876	1,486	264	34,293	250	34,544

(注1) セグメント利益の調整額250百万円には、セグメント間取引消去228百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。